**The Worst Date Ever…**

**(助動詞＋have＋過去分詞)**

Aims

【助動詞＋have＋過去分詞】の使い分けができる。

①may/might 　　　　　　　　　　①～した(だった)かもしれない

②must　　　　　　＋have＋過去分詞 ②～した(だった)にちがいない

③can’t/couldn’t　　　　　　　　　　　③～した(だった)はずがない

④should　　　　　　　　　　　　　　④～するべきだったのに(しなかった)

Time

２０分程度

Materials

写真　(電話・車・レストラン・はてな・ウェイター)

Level

高校生

Organization

クラス全体、４～６人グループ

Preparation

・使うストーリーを英語で言えるように暗記しておく。

・写真をコピーしておく。

(最後のページに写真を貼ったので、よかったら保存して使ってください。)

**Procedure**

1. 教師が設定を説明する。(スクリプト参照)
2. 教師が黒板に絵を書きながらストーリーを話す。文法項目が使われるキーセンテンスは日本語で言い板書する。(スクリプト参照)
3. グループを作り、キーセンテンスを英語で言うにはどのように表現するかメンバー同士で話し合わせ、黒板に書かせる。※間違っていても良いので自力で考えさせる。
4. 教師がコミュニケーション上の微妙なニュアンスを表現するためのヒントを示す。

※答えは言わない。

1. 教師がキーセンテンスも部分も英語にしてストーリーを全文読む。

※キーセンテンスに集中させ、【助動詞＋have＋過去分詞】に気付かせる。

1. 生徒に黒板で答えを修正させ、教師が適宜説明を加える。

**Comment**

これは『「自己表現活動」を取り入れた英語授業』という本の中で紹介されていた活動です。【助動詞＋have＋過去分詞】は複雑な文法項目ですが、機械的に覚えさせるのではなく、具体的で必然性の高い場面を設定することで、楽しく確実に知識を定着させることができるところが良いと思い紹介しました。

注意点：

・ストーリーはできるだけ簡単にわかりやすくする。

・生徒から出る答えが間違っていてもその場で訂正せずにヒントを出して自分たちで考えさせる、気づかせる。

発展：

・ここでは【助動詞＋have＋過去分詞】のすべての用法を扱っているわけではないので、出てきていない用法をストーリーに組み込んだり、別のストーリーを作ったりして、実用的な場面で使う練習がたくさんできると良いと思う。

〈参考書籍〉

田中武夫・田中知聡 (2003) 『「自己表現活動」を取り入れた英語授業』大修館書店p.80-85

【板書計画】

オリジナルのマニフェストを作成、発表を通じて仮定法の定着図る。

レストランの

写真

はてなの

写真

板書④

板書③

Ken

車の

写真

電話の

写真

板書①

板書②

**★スクリプト★**（①～④：キーセンテンス、【】：教師がすること）

**Situation**:

I’m going to talk about a man, Ken. 【黒板にKenの絵を書く】He has a girlfriend, Sue. She speaks ONLY English. Today, he has a date! This is his first date in his life. Imagine you are Ken. If you were Ken, what would you think about following situation?

**Story**:

In the morning. Ring, ring…【電話の写真を貼る】

Ken: Oh, it’s a telephone call from my girlfriend.

 “Hi, Sue. What’s up?”

Sue: “Good morning. What time do we meet today?”

Ken: Didn’t we decide it yesterday…?

“How about 10 o’clock? Is it OK? I’ll pick you up. See you then. Bye.”

Why she asked me that again…?

きっと①彼女は僕と話したかったに違いない！【板書する】

You borrowed a nice car from your father. And you asked your brother to wash the car. But…it was so dirty! 【車の写真を貼る】

こんなのでは、②彼は車を洗ったはずがない！【板書する】

It’s 10 o’clock. 【道のりを絵で描きながら】You are driving to a beautiful beach, mountains, and to a restaurant. 【レストランの写真を貼る】

Ken: There must be the best restaurant around here! Yes, just through this tunnel.

【黒板にトンネルを２つ書き、間違った道へ】、【❔の写真を貼る】

なかなか着かないなぁ。え、もしかして…③道に迷ったかもしれない。【板書する】

You drove almost for one hour, looking for the restaurant. Finally, you got to the restaurant. At the reception…【ウェイターの写真を見せながら】

Waiter: Welcome to our restaurant. Do you have a reservation?

Ken: No…

Waiter: I’m so sorry, but all the tables are taken now.

Ken: Oh, my god…④ちゃんと予約しておけばよかった！【板書する】









